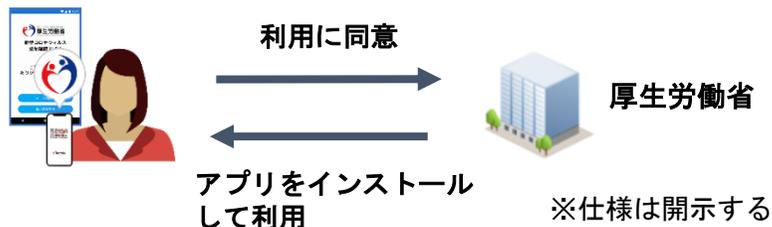


接触確認アプリ ～プライバシーへの配慮と接触の通知の仕組み～

- 接触確認アプリは、本人の同意を前提に、スマートフォンの近接通信機能（ブルートゥース）を利用して、互いに分からないようプライバシーを確保して、新型コロナウイルス感染症の陽性者と接触した可能性について通知を受けることができます。
- 利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。利用者が増えることで、感染拡大の防止につながることを期待されます。

〈プライバシーに最大限配慮〉



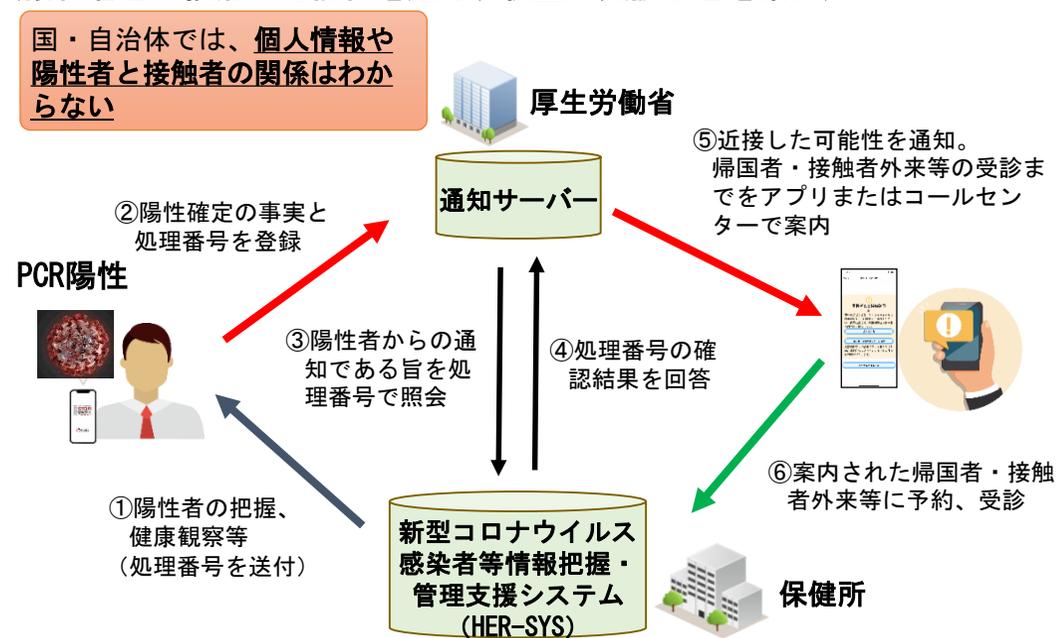
- ・ 電話番号、位置情報など個人が特定される情報は記録しない
- ・ どこで、いつ、誰と近接したか、互いにわからない
- ・ 近接に関する情報（ランダムな符号）は端末内のみで保持し、14日経過後に自動で無効となる
- ・ 利用の同意はいつでも撤回し、アプリを削除して、記録を消去できる

〈ブルートゥースによる接触の検知〉



- ・ ブルートゥースにより、1メートル以内、15分以上接触した可能性を検知
- ・ ブルートゥースをオフにすると記録しない
- ・ 消費電力の少ないブルートゥースを使用

〈陽性者との接触の可能性を通知、検査の受診などを案内〉



※①の処理番号は、アプリではなく、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムから、本人が同システムに登録した携帯電話のSMS又はメールアドレスに送付

- ・ PCR陽性でない方が登録しないよう、新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システムから処理番号を本人に発行し、本人がアプリで入力する。
- ・ 通知を受けた方には、医療機関等の受診までを、アプリまたはコールセンターで案内する。
- ・ 通知を受けた方が検査を受ける場合、検査に係る本人の費用負担は発生しない。